

**富盛地域**

## ゴミ拾いを通して 環境美化と地域交流

老人クラブと子ども会とのふれあい事業の一環として行われている富盛地域空き缶拾いが8月22日に実施され、約120名が参加しました。この活動は、毎年旧暦8月15日前、富盛地域に捨てられている、空き缶、ペットボトル、ビニール等のゴミ拾いを行い生活環境の美化と地域の交流を図ることを目的としています。参加者は、支部ごとに割り当てられた場所のゴミを、指定のゴミ袋に分類しながら収集し、公民館広場に集めていきます。東風平幼稚園生の諸見里まおさんと東風平小学校4年生の城田ひなさんは、「暑くて大変だったけど、みんながゴミ拾いをして町がきれいになつたのでよかったです」と汗をぬぐいながら感想を話しました。



## 新記録及び大会 大城さん沖縄県



第26回沖縄マスターズ陸上競技選手権大会に出場した大城忠徳さんが3,000M走70歳～74歳の部で18分41秒41を記録し、沖縄県記録及び大会記録を更新しました。大城さんは、週に6回は10kmを走るというマラソン好き。尚巴トマラソン第一回大会でも70代の部で優勝からの目標は80歳になるまでに尚巴トマラソンを5回完走することと話してくれました。



八重瀬町認可・認可外保育園保育士研修会が9月2日東風平改善センターで開催され町内の認可、認可外の保育士約110名が参加しました。講師には琉球大学名誉教授中村哲雄先生を招き「なぜ統合保育なのか」障害児の理解の仕方」というテーマの講話をを行い、障害児の見方・考え方、障害児の問題・課題への対応についてわかりやすく説明してくれました。

## 世名城ジャイアンツ 春夏連覇



## 八重瀬町認可・認可外 保育園保育士研修会

第32回南部地区少年野球交流会大会・第8回アクエリアスカップが浦添以南15市町村から64チームが出場する中、9月10日に決勝戦が行われ、世名城ジャイアンツが高嶺クラブを13対1で破り優勝、春夏連覇を達成しました。1回に3点を先行し3回から毎回得点を重ねていくと、守りでは先発の上原龍太君、二番手野原和星君が6回までを無失点で抑え、安定した試合内容でした。次の目標は、秋の県大会連覇です。



今回俳句を書き上げた6年生は、右側から  
久保田祥子さん、伊集成美さん、牧瀬翔子さん、吉田倫恵さんの4名



なんぶグリーン・ツーリズム研究会主催のふれあい農業・農村体験が8月20日沖縄県南部地域で開催され、八重瀬町ではぐしちゃんいも収穫・味わい体験が具志頭いも生産組合の安里喜美子さん指導のもと行われました。町内・町外からツアーに応募した参加者は、与座のギーザ地区でぐしちゃんいもの収穫をすると与座の集落センターでウムクジそうめん・ウムクジ天ぷら等、ぐしちゃんいも料理を食べ、イモクジブツツウルー作りなどを体験しました。ツアーに参加した糸満市在住の新垣忠さんは、「今回娘と一緒に参加しました。娘に普段の生活にない体験をさせることができてよかったです」と話しました。

外間県営団地敷地内にある集会所では、毎週火曜日と木曜日に書道教室が開かれ小学生徒約30名が通っている。今回小学6年生は、小学校最後の夏休みというところで夏の思い出を5・7・5の俳句として詠み、絵模様が施されたがきサイズの用紙に淡墨を使って細筆で書き上げ、夏休みの自由研究テーマとして学校に提出した。この教室では、5年前から卒業記念として書作品づくりに取り組んでおり、4年前からは琉球新報の「俳句教室」コーナーにも投稿している。指導する赤嶺さんは「こどもたちの作品を多くの方にみてもらうことで喜んでもらえたらと思います」と話した。

一マとして学校に提出した。この教室では、5年前から卒業記念として書作品づくりに取り組んでおり、4年前からは琉球新報の「俳句教室」コーナーにも投稿している。指導する赤嶺さんは「こどもたちの作品を多くの方にみてもらうことによって喜んでもらえたらと思います」と話した。

## 夏の思い出を俳句に

## ふれあい農業・農村体験



八重瀬町具志頭さとうきび生産組合の設立総会が9月7日に具志頭農村環境改善センターで開催され、具志頭地区(旧具志頭村)の生産農家や県内のさとうきび関係者230名が参加しました。この組合は、さとうきびの生産向上及び糖業振興に関する啓発活動等により、さとうきびの増産を促進し、農家所得の向上を図ることを目的としています。また、平成19年度産からのさとうきびは、これまでの最低生産者価格が廃止され、市場の需要事情を反映した取引価格が形成される制度へ移行することになり、その新たな価格制度の特徴処置(平成19年までに3年間の支援)についても、生産組織の加入が条件となっています。

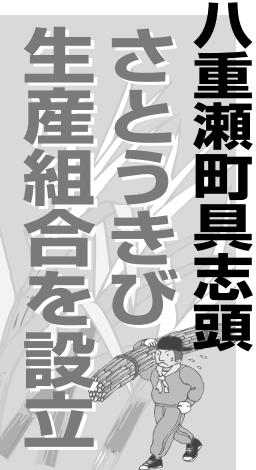


八重瀬町具志頭さとうきび生産組合の設立総会が9月7日に具志頭農村環境改善センターで開催され、具志頭地区(旧具志頭村)の生産農家や県内のさとうきび関係者230名が参加しました。この組合は、さとうきびの生産向上及び糖業振興に関する啓発活動等により、さとうきびの増産を促進し、農家所得の向上を図ることを目的としています。また、平成19年度産からのさとうきびは、これまでの最低生産者価格が廃止され、市場の需要事情を反映した取引価格が形成される制度へ移行することになり、その新たな価格制度の特徴処置(平成19年までに3年間の支援)についても、生産組織の加入が条件となっています。



### 褒賞特別章受賞者

沖縄県農林水産部長賞  
伊福トミ子  
沖縄県畜産会長賞  
我如古美幸  
沖縄県家畜改良協会会长賞  
仲座信行  
島尻・中頭郡農業共済組合長賞  
伊福正二郎



## 平成18年度 八重瀬町畜産共進会

家畜の改良増殖と畜産振興を図るため、八重瀬町畜産共進会が9月6日、南部家畜セリ市場で開催され、肉用牛の部47頭、種豚の部15頭、山羊の部26頭の計88頭を出品し審査を行いました。各種目ごとに優等、1等、2等、3等と格付けをし、優等、1等、2等の家畜に対し賞状及び商品が授与されました。

### 平成18年度 八重瀬町畜産共進会審査結果報告

#### 肉用牛の部

##### 若雌(第1類)

審査成績	出 品 者
優 等	當山 幸徳
一 等	嘉数 幸輝
二 等	伊集 守昭

##### 若雌(第2類)

審査成績	出 品 者
優 等	我如古 美幸
一 等	永山 清光
二 等	永山 齊

##### 成雌(第1類)

審査成績	出 品 者
優 等	新里 祥二
一 等	神谷 英昭
二 等	安次嶺 直輝

##### 成雌(第2類)

審査成績	出 品 者
優 等	伊福 トミ子
一 等	諸見里 真吉
二 等	當山 幸徳

##### 仔牛育成(めす)

審査成績	出 品 者
優 等	仲村 精彦
一 等	我如古 美幸
二 等	新里 祥二

##### 仔牛育成(去勢)

審査成績	出 品 者
優 等	永山 清光
一 等	永山 齊
二 等	大城 丞二

#### 肉用豚の部

##### 経産(第3類)

審査成績	出 品 者
優 等	伊福 正二郎
一 等	伊集 守昭
二 等	我如古 美幸

##### 種豚の部

審査成績	出 品 者
優 等	国吉 光子
一 等	永山 利幸
二 等	仲座 春子

##### 経産(第1類)

審査成績	出 品 者
優 等	永山 一盛
一 等	国吉 光子
二 等	

##### 経産(第2類)

審査成績	出 品 者
優 等	永山 一盛
一 等	神谷 徳正
二 等	

##### 若令雄

審査成績	出 品 者
優 等	金城 寿善
一 等	大城 菊雄
二 等	石川 政徳

##### 壮令雄

審査成績	出 品 者
優 等	浦崎 良栄
一 等	金城 裕隆
二 等	大城 菊雄

#### 山羊の部

##### 未経産

審査成績	出 品 者
優 等	野原政子
一 等	金城誠幸
二 等	金城寿善

##### 経産

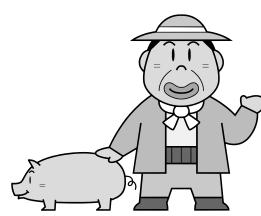
審査成績	出 品 者
優 等	金城寿善
一 等	大城菊雄
二 等	石川政徳

##### 若令雄

審査成績	出 品 者
優 等	金城寿善
一 等	石川政徳
二 等	金城誠幸

##### 壮令雄

審査成績	出 品 者
優 等	浦崎良栄
一 等	金城裕隆
二 等	大城菊雄



# JICAボランティア平成18年度秋募集

国際協力機構（JICA）は、自分の経験や技術を活かして開発途上国の国づくりに協力するJICAボランティアを募集しています。

## 1. 募集内容：青年海外協力隊、シニア海外ボランティア

（日系社会青年ボランティア、日系社会シニアボランティアも同時募集）

## 2. 募集期間：2006年10月1日（日）～11月10日（金）

## 3. 募集職種：教育文化・保健衛生・土木建築・農林水産・スポーツ 等

## 4. 応募資格：20歳～69歳の日本国籍の方

## 5. 派遣期間：原則2年

## 6. 募集説明会・参加体験談発表会：



月 日	時 間	場 所
10月 7日（土）	14:00～16:00	JICA沖縄国際センター（浦添市）
10月 18日（水）	15:00～17:00	名桜大学（名護市）
10月 21日（土）	14:00～16:00	宮古島市中央公民館（宮古島市）
10月 22日（日）	15:30～17:30	大浜信泉記念館（石垣市）
10月 29日（日）	14:00～16:00	JICA沖縄国際センター（浦添市）

## お問合せ先

独立行政法人国際協力機構

沖縄国際センター（JICA沖縄）

業務第一チーム ボランティア班：串間、山下  
〒901-2552 浦添市字前田1143-1

T E L : 098-876-6000

F A X : 098-876-6014

E-mail : jicaoicp-jocv@jica.go.jp

U R L : http://www.jica.go.jp/branch/oic/okinawa.html



平成18年8月23日、町内出身の青年海外協力隊員の下地由子さんが2年間のボランティア活動を終えて帰国しました。下地さんは、平成16年7月からトンガに派遣され、中学1年生から高校3年生にあたる生徒に対し理科を教えていました。町役場を表敬訪問しました。下地さんは、トンガと日本の違いについて「初等教育では英語の授業があるものの、主にトンガ語の教科書を使いトンガ語で授業が行われる。しかし、中等教育以上になると、突然英語の教科書を用い、英語の授業が始まるため、つまずく生徒も多い。日本のように母国語で学ぶことができるることは、素晴らしい感じた」と帰国後の感想を話しました。

平成18年8月23日、町内出身の青年海外協力隊員の下地由子さんが2年間のボランティア活動を終えて帰国しました。下地さんは、平成16年7月からトンガに派遣され、中学1年生から高校3年生にあたる生徒に対し理科を教えていました。町役場を表敬訪問しました。下地さんは、トンガと日本の違いについて「初等教育では英語の授業があるものの、主にトンガ語の教科書を使いトンガ語で授業が行われる。しかし、中等教育以上になると、突然英語の教科書を用い、英語の授業が始まるため、つまずく生徒も多い。日本のように母国語で学ぶことができるることは、素晴らしい感じた」と帰国後の感想を話しました。

平成18年8月23日、町内出身の青年海外協力隊員の下地由子さんが2年間のボランティア活動を終えて帰国しました。下地さんは、平成16年7月からトンガに派遣され、中学1年生から高校3年生にあたる生徒に対し理科を教えていました。町役場を表敬訪問しました。下地さんは、トンガと日本の違いについて「初等教育では英語の授業があるものの、主にトンガ語の教科書を使いトンガ語で授業が行われる。しかし、中等教育以上になると、突然英語の教科書を用い、英語の授業が始まるため、つまずく生徒も多い。日本のように母国語で学ぶことができるることは、素晴らしい感じた」と帰国後の感想を話しました。

## 八重瀬町町章デザイン 1次審査終了！

平成18年7月10日～9月1日で公募を行った八重瀬町町章デザインは、41都道府県から904作品の応募がありました。そのうち15作品は募集要項の基準に反する理由で無効となり、889作品を、平成18年9月19日に開催した第2回町章・町花等検討委員会で一時審査を行った結果、17作品まで絞りこみました。

## 平成18年度地域間交流事業

「なんぶ再発見!地域づくり研修交流会」

「地域資源の活用と展望を探る」

開催期日：平成18年11月11日（土）～11月12日（日）

会 場：主会場 ホテルサンライズ知念

分科会 南城市、南風原町、与那原町、八重瀬町

募集期間：平成18年10月10日（火）から

※但し、参加希望者が定員に達し次第、締め切ることとする。

募集人員：65名

※但し、各分科会によって募集人員が異なりますので募集要項をご覧下さい。

対 象：南部広域圏の住民または圏域内事業所に勤務する者

募集要項配布場所：南部広域市町村圏事務組合、沖縄大学、

関係8市町村役場、南部総合福祉センター

参 加 料：分科会によって参加料が異なりますので募集要項をご覧下さい。

問い合わせ先：〒900-0029 那霸市旭町116番地30（自治会館2階）

南部広域市町村圏事務組合 TEL:(098) 869-9166